



きらきら EYE LAND

令和6年8月1日

グリーンプロジェクト情報 緊急号

J A 庄内みどり

発行: 庄内みどり農業協同組合

7月25日大雨被害対策本部

豪雨による浸水・冠水後 管理の注意点

7月25日の豪雨に伴い、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

この度の記録的な豪雨により各地で甚大な被害が出ております。水稻では出穂期を迎えている品種もあり、浸水・冠水被害があった場合は今後の対応が重要となります。安全面が確保されましたら下記を参考に対策を実施いただきますようお願い致します。

【当面の水管理】

- 用水路、灌漑設備の損壊により灌水ができない圃場では雨水の貯水等対応をお願い致します。

～ 用水路、灌漑設備が使用出来るようになった場合 ～

- 安全に圃場に近付けるようになり、水路の水位が低くなりましたら圃場の排水を行いましょう。圃場に溜まった水が高水温状態になることで被害を大きくするので、排水後は新しく冷たい水を入れるようにしまししょう。その後は『飽水管理（作溝に水を溜めておくこと）（土中に十分な水分がある状態）』を行い、水を切らさないよう管理しまししょう。
- ただし、出穂期には湛水管理（花水）としまししょう。
- 排水は重要ですが、浸水、冠水後は稲体が水分を多く欲する状態になりますので、圃場が過度に乾燥しないよう注意してください。

※ 地区の配水（番水）計画は必ず守り、地域全体に水が行き渡るようにしまししょう！

【病虫害対策】

- 浸水、冠水被害にあった水稻は稲体が消耗しているため、病虫害（いもち病、紋枯れ病等）が発生しやすい状態になっています。圃場をこまめに観察するようにし早期発見・早期防除を徹底しまししょう。

※土砂の流入など見られた圃場では、撤去作業前に写真を撮っておいてください。